

## 【NEWS RELEASE】

2024年7月17日

各 位

株式会社三井住友銀行

バイオ企業群「ちとせグループ」への出資について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、CHITOSE BIO EVOLUTION PTE. LTD.（CEO：藤田 朋宏、以下グループを総称して「ちとせグループ」）と出資金額 10 億円の出資契約を締結いたしました。

ちとせグループは、世界のバイオエコノミー（※1）をリードするバイオ企業群です。千年先まで人類が豊かに暮らせる環境を残すべく国や多くの企業と協力し、経済合理性を成立させながら技術を社会に展開しています。幅広い生き物の育種・培養技術を有し、微細藻類、細胞、発酵、農業、腸内細菌など多岐にわたる研究開発、事業開発を行っています。

世界的な人口増加や食料不足の進行に加え、気候変動などグローバルな社会課題が深刻化する中、持続可能な経済成長の実現を可能にするバイオエコノミーに対し、国際的な注目が高まっています。日本政府も、2019 年に「バイオ戦略」を策定し、2030 年の「世界最先端のバイオエコノミー社会」の実現を掲げ、国内での政府支援も強化されている領域です。

特に、二酸化炭素と太陽光からタンパク質、脂質、炭水化物など多様な有価物を効率的に生成できる微細藻類は、化石資源由来製品の代替だけでなく、幅広い用途への活用が展望されます。ちとせグループは、バイオ技術を活用した大量生産・商用化に向けた取組として、藻類産業を構築するプロジェクト「MATSURI (MicroAlgae Towards SUsustainable & Resilient Industry)」を主導し、産業界を巻き込んだバリューチェーン構築を推進しています。

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達）では、現中期経営計画において「社会的価値の創造」を基本方針の一つに掲げ、主体的に取り組むべき重点課題の一つとして「環境」を定めております。また、社会的価値創造に資するお客さまとの事業共創・開発、新たな技術の開発や産業の育成を、リスクテイクを通じて支える枠組みの一つとして、「社会的価値創造投資枠」（※2）を設定しております。本件は、この「社会的価値創造投資枠」を活用した出資であり、バイオエコノミー実現に向けて必要な技術や知見を持つちとせグループのみならず、バイオ技術を活用したバリューチェーンの構築を進める企業とも連携することで、産業界の脱炭素化に向けた取組をより一層推進してまいります。

### ※1 バイオエコノミー

バイオテクノロジーや再生可能な生物資源等を活用し、持続的で、再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念

### ※2 社会的価値創造投資枠

SMBCグループの2024年5月17日付プレスリリース「社会的価値の創造に向けた経費枠の設定について」ご参照 ([https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20240517\\_01.pdf](https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20240517_01.pdf))

#### 【ご参考】CHITOSE BIO EVOLUTION PTE. LTD. の概要

名称	CHITOSE BIO EVOLUTION PTE. LTD.
設立年	2011年
所在地	6 Eu Tong Sen Street #10-12, Singapore 059817, Singapore
概要	バイオ技術を活用した事業創出のための研究開発、事業開発を行うちとせグループの持株統括会社。実態的な事業を行う「株式会社ちとせ研究所」を始めとした、日本、シンガポール、マレーシア、ブルネイの子会社を統括。

以 上